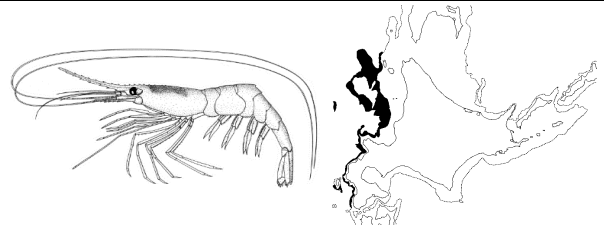


39.ホッコクアカエビ

主な漁業と漁期
 えびかご：3～翌1月
 えびこぎ網：主に12～翌3月



日本海海域

生態

◆分布・回遊

日本海における主な漁場は水深200～600mの海域です。産卵期の産卵群は深海域、ふ出期の抱卵群は浅海域に分布する傾向があります。

◆産卵期・産卵場

◎産卵期は4～5月頃です。抱卵期間は約10か月で、幼生のふ出期は2～3月です。

◎産卵場：水深350m以深の海域です。

◆成長・成熟

(7月時点)

	甲長 (mm)	体重 (g)		甲長 (mm)	体重 (g)
1歳	9.6	0.5	6歳	26.6	12
2歳	14.5	1.7	7歳	28.3	12.6
3歳	18.5	3.6	8歳	29.8	16.6
4歳	21.8	5.8	9歳	30.9	16.4
5歳	24.4	8.1	10歳	31.8	20.3

*) 甲長：1999～2011年の北洋丸えびかご調査結果より
 *) 体重：平成4年度稚内水試事業報告書の甲長-体重式から計算
 *) 6、8、10歳の体重は卵重を含む体重
 *) 加齢の基準日：1月1日

◎成熟年齢・甲長

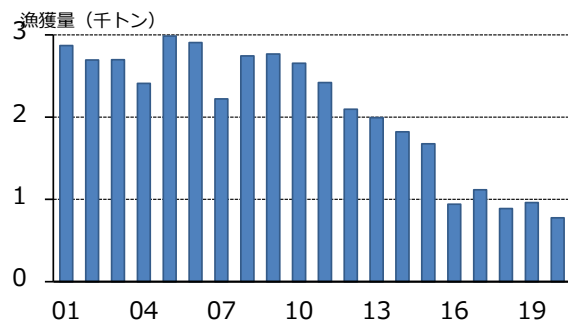
甲長25mm、5.5歳でオスからメスに性転換します。多くはおよそ甲長26mm前後、6歳で初めて産卵し、抱卵メスとなります。メスになってからは隔年で産卵します。

資源評価

[評価年] 1月～12月

[資源水準の指標] えびかごCPUE

2020年度の漁獲量は775トンと、前年より減少しました。資源水準は2002年以降中水準で安定して推移していましたが、2020年には初めて低水準に落ち込みました。えびこぎCPUEの減少や、調査船調査の結果から、翌年にかけての資源動向は減少と判断されました。近年、漁獲努力量は減少しており、資源は概ね適正に利用されていると考えられますが、高豊度の加入が見込めないことや、CPUEは減少傾向が続いていることから、今後の資源動向にはより注意が必要です。



2020年度
の水準



低水準

2021年度
の動向

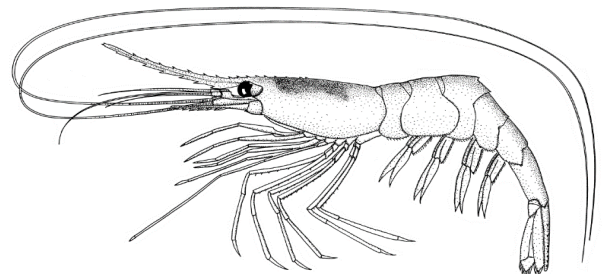


減少

資源の維持・増大のために！

資源管理の現状(主なもの)

- えびかご漁業許可の制限条件等
かご数や目合(10節)が制限されています。
- 若齢個体保護のため、天売沖の一部海域が、8月16日～9月15日の間、資源保護区とされています。



☆現在の取り組みを継続することが必要です。また、今後も低水準が続く場合、経営面も考慮したさらなる管理対策が必要と考えられます。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係
 北海道立総合研究機構 稚内水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477
 電話 0162-32-7166